

やなせ たかし先生 生誕100周年記念講演会

「アンパンマン誕生の秘密」

～アンパンマンに込めた やなせ先生の思い～

日時：令和元年12月7日（土）午後4時 開演
 ＊午後3時30分開場、講演開始まで「DVD 勇気の花がひらくとき」の一部を上映予定

会場：四谷区民ホール
 （新宿区内藤町87 四谷区民センター9階）

講演者：梯 久美子（かけはしくみこ）氏

主催：四谷地域センター運営委員会

共催：新宿区（四谷特別出張所）

参加費：無料

アンパンマンはなぜ傷ついた人のために自分の顔をさしだして食べてもらうのでしょうか？
 「なんのために うまれて なにをして 生きるのか」
 子どもたちが大好きなアンパンマンの物語に秘められたやなせたかしさんの思いを「勇気の花がひらくとき やなせたかしとアンパンマンの物語」の著者である梯久美子氏が語ります。



【梯久美子氏（ノンフィクション作家）プロフィール】
 1961年生まれ。北海道大学文学部卒業。
 雑誌「詩とメルヘン」を通じて、やなせたかし氏のもとで薫陶を受ける。
 その後、編集プロダクション経営をへて作家となる。
 「散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道」（2005）で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。
 2015年、やなせたかし氏の子供向けの伝記「勇気の花がひらくとき」を刊行。



新宿区名誉区民
 （平成16年1月5日顕彰）

故 やなせ たかし 氏
 （平成25年10月13日逝去）

大正8年2月6日、高知県生まれ。東京高等工芸学校（現千葉大学）卒業後、高知新聞社、三越百貨店宣伝部等を経て、昭和29年独立されました。

その活動は多岐に渡り、絵本作家のほか、作詞家としては「手のひらを太陽に」などを世に出し、雑誌編集者、詩人、作曲家、漫画家、脚本家、舞台演出家等として活躍されました。

平成30年には、国民的キャラクターとして愛されている代表作「アンパンマン」の絵本出版45年、その人気を不動のものにしたアニメ「それいけ！アンパンマン」のテレビ放送開始30年、映画化30年を迎えました。

やなせたかしさんから寄贈されたキャラクター

四谷地域センターのマスコット
 「ハットくん」



「ハットくん」は四谷地域センター開館5周年（平成14年）の時に、寄贈していただきました。

新宿区の防犯マスコットキャラクター
 「新宿シンちゃん」



©やなせたかし/
 やなせスタジオ

「新宿シンちゃん」は平成16年6月に寄贈していただきました。区の防犯パンフレットやシール、自主パトロール用の腕章等に活用させていただき、今では、防犯のみならず区の様々な事業で活躍しています。

【講演会に関する問合せ先】 四谷特別出張所長 中野 電話03-3354-6171

【名誉区民に関する問合せ先】 総務部総務課長 鯨井 電話03-5273-3505